

令和 6 年度 宮城東部地域自立支援協議会 活動報告

以下は令和 7 年 1 月 2 3 日(木)、七ヶ浜町中央公民館を会場に実施した『令和 6 年度 宮城東部地域自立支援協議会 全体会』で配布した資料です。

令和 6 年度の報告として掲載いたします。

令和 6 年度 宮城東部地域自立支援協議会 全体会

日 時：令和 7 年 1 月 23 日（木）
10：00～12：00
場 所：七ヶ浜町中央公民館
司 会：塩釜市

次 第

1 開会・挨拶

【第 1 部】

2 今年度の活動報告等

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) 地域生活支援拠点等運営プロジェクト | P. 1 |
| (2) 家族等支援ネットワーク（きょうだい児支援ネットワーク） | P. 2 |
| (3) 家族等支援ネットワーク（医ケア家族ネットワーク） | P. 3～ 4 |
| (4) 精神地域包括ケア検討会 | P. 5～ 7 |
| (5) 障害者差別解消部会 | P. 8 |

3 事業所 PR

- (1) MK アシスト
- (2) ハローズ多賀城
- (3) クリエイティブ笑未

4 その他

- ・お寄せいただいた御意見・御質問等 P. 13

5 閉会・挨拶

～休 憩～

【第 2 部】

6 みんなで懇談会（地域づくりネットワーク会）

※資料 P. 14～15（配置図）、 P. 16～17（参加者名簿）参照

地域生活支援拠点等運営プロジェクト ダイジェスト

発行：令和 7 年 1 月

H29 年度より開始した「地域生活支援拠点等事業」の事業実績の共有・機能強化に向けた協議を行うプロジェクトです

令和 6 年度は 7/24（水）に第 1 回会議を実施し、緊急ショート事業の実績の報告や圏域版面的整備の推進、懸案となっていた医ケア NW 会の立ち上げに向けた取り組みの報告と協議を行いました。12/17（火）に開催された第 2 回の会議では上記に加え、日中サービス支援型 GH 評価の取り扱いについても協議しました。

「緊急 SS 受け皿拡大（圏域版面的整備）」の推進

令和 4 年度末より「緊急時の受け入れへの参画」について、短期入所事業所（さわおとの森運営の 2 事業所を除く 6 事業所）への要請活動を進めてきました。今年度お声がけした新規事業所からも快諾をいただき、現在運用に向けて圏域市町の契約内容の整理をしているところです。

令和 7 年度より運用を開始します。

《協力いただける SS 事業所》

- * あすなる * 杏友園 * 松の実
- * 僕の家私の家 * ソーシャルインクルーホーム
- * えくぼハウス (NEW!!)

今年度緊急支援の実績報告

（令和 6 年 4 月 1 日～
令和 6 年 12 月 31 日）

- 緊急対応件数（対応日数）：
8 件（のべ 24 日間）
- * みんなの家、さわおとの森 SS
で受け入れしました。
- * 緊急事態の内容は「介護者の体
調不良、緊急入院」が最多。
- 新規登録者数：14 名
- * 現在の拠点登録者数は 99 名
- * 登録推進の流れが定着してき
ました。

医ケア家族支援 NW 会立ち上げ・家族交流会開催

「医ケアを必要とする方々への支援体制の構築」が求められていることから、令和 5 年度に実態調査を行い自立協として取り組めることについて協議、令和 6 年度から NW 会の立ち上げと交流会の開催に向けての本格協議を開始しました。

“医療的ケアが必要な障害児者を支える家族のための交流会”

第 1 回家族交流会 開催決定！！

- * 日時：令和 7 年 2 月 21 日（金）10：00-11：30
- * 会場：利府町保健福祉センター
- * 内容：家族対象、つながりづくり・情報交換のための交流

日中サービス支援型 GH における 報告・評価について

上記 GH は、地域に開かれ、質の確保を図ることを目的に、実施状況の報告や自立協等による評価を受けることとされています。

自立協としてどのように報告を受け評価するのか等具体的な運用方法について協議、整備を進めました。

プロジェクトメンバー

- * 下山清子氏（多賀城市手をつなぐ育成会）
- * 好井まり子氏（利府町手をつなぐ親の会）
- * 吉田千恵氏 松田達也氏（杏友園）
- * 菅井真悠子氏（しおーも）
- * 伊藤敏和氏（北上の郷）



令和6年度 宮城東部自立協議会

きょうだい児支援ネットワーク 保護者懇談会を開催



実施日時・内容

●懇談会

- ① 令和6年10月10日(木) 10時～
- ② 令和6年10月24日(木) 10時～

●懇談会 オフ会(昨年からはまりました)

- ③ 令和6年11月5日(火) 10時～

<場 所>

多賀城市市民活動サポートセンター
3階:大会議室

<内 容>

- ・ペアレントメンターによる育児体験談
- ・保護者同士の懇談、交流
- ・3回目は、昨年からはめたオフ会企画
保護者同士の交流、おしゃべり会の場
として開催。

<参加人数>

- ・3回開催し延べ、16名の参加。



メンター2名による育児体験談から始まりました。
障がい児ときょうだい児の子育て記について自作の年表
や、サザエさん一家を自分のご家族に例え、苦難あり…感動
あり…沢山のお話を紹介して頂きました。皆さん真剣なまな
ざで聞いている姿が印象的でした。



懇談会の様子

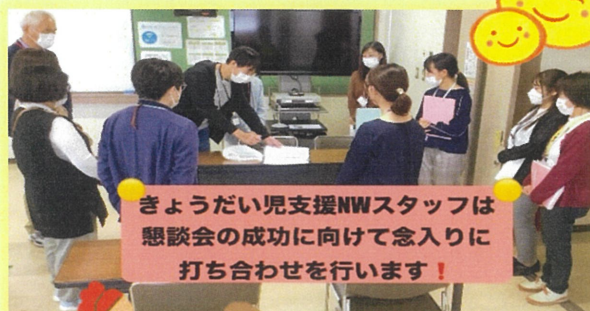


Aグループ

母親として…。
きょうだいのために…。
参加された方全員が同じ
悩みを抱えていました。

Bグループ

メンターさんの体験談や
他者の話を聞き、共感で
きた部分も多かったよ
うです。



きょうだい児支援NWスタッフは
懇談会の成功に向けて念入りに
打ち合わせを行います!



オフ会開催

オフ会は参加された方々を
中心に進められるよう場の提
供のみ設定しました。お子さん
の話だけでなく、ご自身が打ち
明けられずにいた思いに共感
し合う機会になっていたよう
です。



参加された方々の感想・ご意見

- ・メンターさんの話を聞き、いずれ自分もぶち当たる壁があ…と少し不安になったが
その時の自分の気持ちや、きょうだい児に対する気持ちを正直に伝えることは大切
だと感じた。
- ・参加者やメンターさんの話…それぞれの悩みを聞き、自分だけではないな。仲間が
いるんだと思うことができた。
- ・はじめて参加し、自分の事ばかり相談してしまったがメンターさんの話や他の方
の話を聞いて良かった。子どもの夢が一つかないそう。★ たぶん…。
- ・元気になる話をたくさん聞く事ができた。今の幸せを継続できるように日々頑張
る!
- ・きょうだいで参加できるイベント・グループホームについて先輩の話を聞きたい。



参加された皆さんの感想やご意見を基に、きょうだい児支援ネット
ワークの役割として検討課題をみつけながら地域の皆さんとのつな
がりを大切にしていきたいと考えています。

きょうだい児支援ネットワーク 構成メンバー
・宮城県立利府支援学校
・多賀城市保健福祉部介護・障害福祉課
・多賀城市児童発達支援センター 太陽の家
・NPO 法人 幸創
・放課後等デイサービス かりん
・相談支援センター もりのひろば
・塩釜市ひまわり園(放課後等デイサービス)
・宮城県障害児療育支援事業 あとれ
・地域拠点センター ふきのとう

【問い合わせ】

地域拠点センター ふきのとう
TEL: 022-352-1501

令和6年度 宮城東部地域自立支援協議会 家族支援ネットワーク

医療的ケア児者家族支援

医療的ケア児者と家族のネットワークづくりに関する経過について

宮城東部地域自立支援協議会において、地域生活支援拠点等運営プロジェクト内にて本圏域における現状と課題のひとつに「医療的ケアの必要な方達に対する支援の構築に向けた取り組み」があり、令和5年4月に、実態調査（アンケート）を行いました。そのアンケートの中で「当事者家族の交流・情報の場の設置やコーディネート」を求める声が多くありました。

この意見を「医療的ケア児者と家族のネットワークづくり」として、その実現に向けた話し合いを令和6年度より実施しました。地域生活支援拠点等運営プロジェクトから切り離し、家族支援ネットワーク会に新たに加わり下記の構成メンバーと共に活動しております。

活 動 報 告

①令和6年8月7日（水）第1回会議

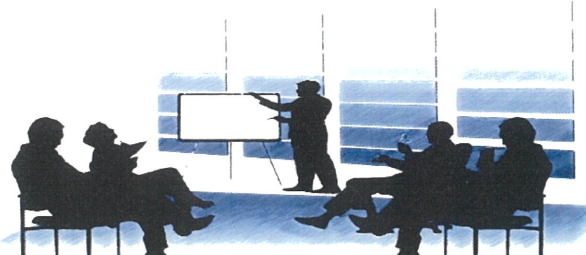
・交流会の開催にあたり、参加の有無、希望日程、開催方法（対面・オンライン）、参加時場所等の配慮等について事前にアンケートの実施。

②令和6年10月23日（水）第2回会議

・アンケート集計結果の確認及び、交流会開催場所、日程に関するチラシ作成について。
（別紙、医療的ケア家族交流会 参照）

③令和7年1月28日（火）第3回会議（予定）

・参加申し込み状況等確認 他



医療的ケア児者家族支援
ネットワークメンバー（順不同）

- ・利府町（葛巻氏）
- ・七ヶ浜町（武田氏）
- ・松島町（林氏、内藤氏）
- ・塩釜保健所（渡邊氏、後藤氏）
- ・太陽の家（阿部氏、高橋氏）
- ・つなぐ利府（関口氏）
- ・ふきのとう
（佐野氏、竹内氏、今村氏、上総氏）
- ・嶋福祉会（戸部氏、根本氏）





医療的ケア家族 交流会



参加
無料

主催：宮城東部地域自立支援協議会
医療的ケア家族支援ネットワーク会

『誰かに相談したい』『情報がほしい』

医療的ケアが必要な障害児者を支える家族のための交流会を企画しました。

対象は“ご家族”。目的は“つながりづくり”と“情報交換”

ぜひお気軽にご参加ください！

2月21日 **金**

利府町保健福祉センター
大ホール

10:00 ~ 11:30

宮城郡利府町青葉台一丁目 32 番地

問合先
地域拠点センターふきのとう
022-352-1501





令和6年度「にも包括」かわら版

塩釜地域精神包括ケア検討会

令和6年8月作成
vol.1



精神障害の有無や程度にかかわらず、地域で安心して生活するための体制整備を図るために、保健・医療・福祉の支援機関による協議の場を、当圏域では宮城東部地域自立支援協議会の中に設置しています。



令和6年度「にも包括」検討会は、以下のメンバーで活動しています。

多賀城市
福士保健師

利府町
葛巻主事

緑ヶ丘病院
江頭相談員

地域拠点センター ふきのとう
佐野センター長、竹内コーディネーター

仙台保健福祉事務所
後藤、二階堂コーディネーター

第1回「にも包括」検討会 5月23日(木)実施

第1回「にも包括」検討会では、メンバーの顔合わせと昨年度までの取組、今年度の年間計画について検討しました。昨年は、ワールドカフェ方式の事例検討を行い、“盛り上がったね。また皆でやりたいね。”という感想が、昨年からのメンバーより出されました。

一方で、塩釜圏域の「にも包括」構築推進状況は“地域アセスメント”の段階であることを確認し、令和4年度に仙台大学の氏家先生から“ケース対応の中にこそ、地域課題はある”というお話をいただいたことを踏まえ、“地域課題を集めるためにアンケートを実施してみてもどうか？”といった意見があがりました。

第2回「にも包括」検討会 7月4日(木)実施

第2回「にも包括」検討会では、東北福祉大学の実習生も同席し、アンケート調査を実施するためのアンケート項目について検討しました。

- *アンケート項目について都道府県等密着アドバイザー(※)である仙台大学の氏家先生からご助言いただくのはどうか？
- *地域アセスメント行うために、アンケート調査と並行して講演会やざっくばらんに話せるグループワークを開催するのはどうか？

など、和気あいあいと様々な意見があがりました。
コアメンバーでの話し合いの結果、
令和6年度冬頃に、地域アセスメントのための講演会とアンケート調査を行うことになりました！！
詳細は、決まりましたらお知らせしたいと思います。

また、「にも包括」検討会の内容について皆様にお知らせするために、
かわら版を発行することも決定しました！ よろしくお祈いします！！



【7/4 検討会の様子】

(※)都道府県等密着アドバイザーとは…

国は、「にも包括」を推進するために、実践経験のあるアドバイザー(広域、都道府県等密着)から構成される組織を設置しています。

都道府県等密着アドバイザーは、都道府県等の担当者と協力しながら障害保健福祉圏域及び市町村における課題解決に向けた具体的な相談・助言・支援を行います。

編集後記

「にも包括」かわら版第1号、いかがでしたか？
今年度の発行は、仙台保健福祉事務所が担当します。
お気づきの点やご意見等ございましたら、お近くの『「にも包括」検討会』メンバー又は、下記へご連絡下さい。

〒985-0003 塩釜市北浜四丁目8-15
仙台保健福祉事務所 母子・障害第二班 後藤・二階堂
☎022-365-3153



令和6年度「にも包括」かわら版 vol.2

塩釜地域精神包括ケア検討会

令和6年11月作成

季節は暑い夏からさわやかな秋へと移り変わってまいりました。
塩釜地域精神包括ケア検討会も回を重ねるごとに、少しずつですが、取組の方向性が明確になってきました。簡単ですが、8月以降の活動についてご報告いたします。



9月19日
(木)

★
訪問看護ステーションデューン宮城野を訪問

7月4日第2回「にも包括」検討会で、“訪問看護の活動って、知っているようだけど、実際にはよくわからないこともあるよね。”という話になり、コアメンバーで相談した結果、訪問看護ステーションの方を講師にお招きして研修会を開催することになりました。

日頃の活動の中でつながりのある、訪問看護ステーションデューン宮城野（以下、デューン宮城野）にご依頼したところ、快くお引受け（内諾）いただき、改めて講師のご依頼と研修会に向けた打合せをするために、9月19日にデューン宮城野に伺いました。

デューン宮城野では、「利用者希望による訪問回数の制約や医療中断等により訪問看護を停止することがあるため、制度に縛られて思うように関われないことがある。」「医療機関とのやり取りは多いが、事業所とのやり取りは少ない。」等、日頃感じている実情をお話していただき、貴重な機会となりました。また、支援者は是非訪問看護の業務について知ってほしいという思いもお話されておりました。

研修会では、訪問看護の業務や日頃感じている実情を知ることのできる貴重な機会になりそうです！（内容については、下記参照）



9月30日
(火)

★
第3回検討会

第3回「にも包括」検討会では、都道府県等密着アドバイザーである仙台大学の氏家先生をお呼びし、令和7年2月4日に開催される研修会と地域課題を集めるためのアンケート調査について検討しました。

研修会について

デューン宮城野の島貫所長を講師にお招きして、訪問看護からみた塩釜圏域の地域課題をテーマに講演をしていただくことが正式に決定しました！

氏家先生からは、「実際に訪問看護師からは“どのような関係機関と連携すればよいか分からない”という話も聞いたことがあるため、支援者向け研修会で、訪問看護からみた地域課題を共有しようとする視点は、とても良いと思う。」と御助言いただきました。

アンケート調査について

塩釜圏域の地域課題を整理するために、支援者の皆様の日頃の個別支援の中で感じている地域課題をアンケート調査によって抽出したいと考え、アンケート項目や実施方法等、検討を重ねています。

今回の検討会で氏家先生から、「何度もアンケートを行うのは支援者の負担になってしまうことが懸念」とのお話がありました。その点も踏まえ、アンケートの目的を明確にした上で、できるだけシンプルなアンケート項目になるよう、改めて修正することになりました。



第3回検討会終了後は、コアメンバーで役割分担しながら、研修会の準備を進めているところです。日程と会場および大まかな内容については、右記のとおり決まりました。詳細が決まり次第、チラシ等でご案内したいと思います。多くの皆様に御参加いただき、昨年と同様に実りある研修会となるよう、準備を進めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

令和6年度研修会テーマ

『訪問看護の視点から考える！にも包括！』

日時：令和7年2月4日（火）午前10時～正午
場所：多賀城市役所 西601・602会議室
講演：『訪問看護ステーションの活動からみえる



塩釜圏域の地域課題について』

講師 訪問看護ステーション デューン宮城野
島貫 美沙子 氏

＜編集後記＞

「にも包括」かわら版第2号、いかがでしたか？今年度の発行は、仙台保健福祉事務所が担当します。お気づきの点やご意見等ございましたら、下記へご連絡下さい。

〒985-0003 塩竈市北浜四丁目8-15

宮城県仙台保健福祉事務所母子・障害第二班 後藤・二階堂

☎022-365-3153





塩釜地域精神包括ケア検討会

令和7年1月作成

塩釜地域精神包括ケア検討会の今年度の取組も、いよいよ大詰めとなりました。
2月4日に開催予定の支援者研修会が、皆様と交流を図りながら楽しく充実した研修会になるよう、
コアメンバー全員で準備に当たっております。12月以降の活動について、簡単にご報告します。

令和6年12月2日(月)第4回「にも包括」検討会

◆アンケート調査について◆

今年度1回目の検討会で、個別事例から地域課題を抽出するためのアンケート調査を行うこととし、調査方法や項目について検討を重ねてきましたが、まずは、下記支援者研修会を開催し、研修会で出た意見を整理していく方向性になりました。
その上で、改めて来年度実施について再度検討することになりました。

◆支援者研修会について◆

2月4日(火)に行う研修会は、地域と医療の連携に焦点を当て、圏域の精神保健福祉に携わる医療・保健・福祉の支援機関が訪問看護の活動を理解するとともに、事例を通して具体的な連携の在り方について意見交換を行うことで、今後のケース支援の一助に繋がることを目的に開催します。

今回の検討会では、昨年度の研修会を参考にしながら、当日の流れや役割分担等について、コアメンバーで具体的に打合せを行いました。

※12月20日頃に開催通知を発送させていただき、参加者の取りまとめを行っているところです。

令和6年度宮城東部地域自立支援協議会 精神包括ケア検討会

支援者研修会

【日 時】令和7年2月4日(火) 午前10時から正午まで

【場 所】多賀城市役所 西601・602会議室

(宮城県多賀城市中央2丁目1-1)

【参集者】

- 管内精神病床を有する病院(精神科訪問看護含む)
- 管内指定自立支援医療機関(精神通院医療)訪問看護事業所
- 管内市町保健福祉担当課(精神保健・障害福祉担当)
- 宮城東部地域自立支援協議会事務局
- 管内相談支援事業所

【内 容】

テーマ：訪問看護の視点で考える！「にも包括」！
～ 関係機関にできることは ～ (仮)

(1) 講演：訪問看護の活動と地域との連携について

講師：訪問看護ステーション デューン宮城野 所長 島貫 美沙子氏

(2) ワールドカフェ形式のグループワーク

今年度の支援者研修会は、精神科訪問看護の活動を知る貴重な機会となっております。

また「にも包括」都道府県等密着アドバイザリーの氏家先生にも御参加頂くことになっています。

《編集後記》

「にも包括」かわら版第3号、いかがでしたか？
今年度の発行は、仙台保健福祉事務所が担当します。
お気づきの点や御意見等ございましたら、下記へ御連絡下さい。

〒985-0003 塩竈市北浜四丁目8-15
宮城県仙台保健福祉事務所 母子・障害第二班(後藤・二階堂)
☎022-365-3153

障がい者差別解消部会ダイジェスト

令和7年1月

令和3年に障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1からは、個人事業主などを含めた事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。今年度も部会では、研修会開催や差別解消の取り組みを検討し進めてきました。

(1)障がい者差別解消研修会の開催 令和6年5月31日

塩竈市を会場に、NPO法人仙台バリアフリーセンター理事の及川智さんを講師に迎え、及川さんの実体験も取り入れた合理的配慮に関する講演、事例紹介、意見交換を内容とする研修会を開催しました。

当日は、平日にもかかわらず約90名の参加者がありました。事例紹介では、参加した皆さんが真剣に考える場面があり、差別とは何かを改めて考える貴重な時間となりました。



(2)研修会を踏まえ今後の取り組みをメンバーで検討

研修会を終えて、6月、9月、11月に差別解消部会メンバーで集い、研修会の振り返りの話し合いから始まり、令和7年度に向けて話し合いを重ねました。

(3)令和7年度に向けて

①差別解消に係る研修会を開催(年度前半)

地域での差別解消に係る啓発を目的とした研修会を開催。

②事例収集の継続(年度通じて)

③事例検討会を開催(年度後半)

収集した事例をもとに、事例検討会を開催し、地域から出てくる実際の事例を共有することで、地域の実情を知り、地域全体で考える。

障がい者差別解消部会メンバー

障害者支援施設 杏友園(大山)、
松島町社会福祉協議会(赤間・横山)
利府町障害者相談支援事業所 ひまわり(工藤・菅野)
地域拠点センター ふきのとう(佐野・竹内)
塩竈市(相澤・松村)、松島町(櫻井・林)、七ヶ浜町(武田・佐々木)

知的分会・身体分会 ダイジェスト

(1) 当事者団体及び支援団体から発信される
「解決したい地域課題」を受け止めます。



課題解決に向けた協議に繋がります。

(2) 研修会等へのご案内を発信しています。

5月31日に開催した「差別解消研修会」には、2市3町の(身体)障がい者福祉協会、手をつなぐ育成会の皆様にも多数のご参加をいただきました。

「合理的配慮」について理解を深めると共に、課題意識を共有することができました。

コンセプト

『障害を持つ方たちとそのご家族の生活に寄り添い、地域に対するご要望を自立支援協議会に吸い上げる』

塩釜地区手をつなぐ育成会等役員会連絡会に出席させていただきました

ここ数年コロナウィルスの影響で活動が縮小されていましたが、

対面でのイベントや研修等を実施され、

参加者の喜ぶ姿が見られたという嬉しいお話や、

今後の活動開催に向けて奮闘されているお話を聞き、

力強い新たな芽吹きを感じました。また

情報・意見交換も活発に行われており、

各地域で課題が異なっても、

意見交換をすることで解決の糸口が

見えてきた場面は非常に印象的で、

顔を合わせる事や繋がりがある事の

重要性を感じてきました。自立支援協議会に

ついてのご意見をいただき、今年度の活動の全体会では

地域のサービス事業所の活動の様子を知っていただくため、

「事業所 PR」の時間を設けることができました。

今後も家族会等の活動を様々な形で支援させていただきますので、

お気軽にお声がけください。



令和6年度 宮城東部地域自立支援協議会
家族等支援ネットワーク
精神分会 ダイジェスト

発行元：宮城東部地域自立支援協議会 令和6年12月

成年後見制度について勉強会を開催しました！

昨年度、家族会の皆さまにご協力いただいたアンケートの中からニーズを抽出した結果
親亡き後の生活に焦点をあてることにしました。

◆今年度の取り組み◆

【ニーズ】

- ・家族同士が悩みを共有できる場が欲しい。
- ・親亡き後が心配だ。



① 今年度も継続して各圏域の家族会に参加

② 家族交流会開催

第1回 8月2日（利府町役場）

第2回 11月29日（リフノス）



① 家族会参加 ◆

◆各圏域の家族会に連絡を取り、今年度も引き続き参加させていただきました。



- ・ご家族の声を直接伺い、抱えている悩み、家族会の現状やニーズ等を把握することができました。
- ・自立協の参加について、継続の声が多い。



～来年度へ向けて～

- ① アンケートを活かした勉強会。家族交流会を開催する
- ② 圏域内の家族会へ継続して参加し、繋がるきっかけ作りを行う。

② 成年後見人に関する勉強会及び家族交流会

◆令和6年度は2回家族交流会を行い、宮城県社会福祉士会 権利擁護センター「ぱあとなあ宮城」運営委員の西野美幸様を講師にお招きして成年後見制度について勉強会を行いました。2市3町のご家族、支援者あわせて58名にご参加いただきました。

○グループ懇談会

テーマは自由。勉強会の振り返りや当事者と関わる上での悩み、家族会のこと等を自由に語り合いました。

＜交流会アンケートより＞

- ・発言に対して傾聴、否定されない安心感もあり、日頃の思いを知ることができた。
- ・とても勉強になったので、これからもこんなお話し合いをお願いしたい。

リーダー
江頭（緑ヶ丘病院）
サブリーダー
松村（塩釜市）
メンバー
安・加藤（藻塩の里）
原田（コスモスホール）
村田（けやき）
佐野・竹内・上総（ふきのとう）
菊地（利府町）
一岡・阿部（ふっとわ〜く）

精神分会メンバー

令和6年度 宮城東部地域自立支援協議会

就労支援ネットワーク会 ダイジェスト

令和7年1月

拡大

就労ネットワーク交流会

2024.6.21(金) パブリックハウス多賀城店にて



今年度の就労ネットワーク会の交流会は、就労系以外の事業所や自治体にもお声がけして、グループホームの事業所さん、自治体の職員も含めた18名で開催をしました。

普段から接することが少ないので色々と情報交換で盛り上がりました。今後も飲み会と称した交流会をどんどん行っていき、話す事で地域の課題や事業所の課題が見てきたので連携をした上で地域を盛り上げていきたいです。

障害者就労を考える～ミライノカタチ～ 9/20(金)

『障害者就労を考える～ミライノカタチ～』と銘打って、地域の就労事業所向けの研修会を開催しました。

講師には、「チョコしおがま」を運営する「有限会社大裕」障害福祉部ゼネラルマネージャーの成田豊さんをお迎えし、成田さんの豊富な経験を生かした、笑いを交えながらも示唆に富んだお話を伺うことができました。

講師の熱量あるお話に、参加された方から「多くの学びを得られた」との感想をいただき、参加者の満足度がとても高い研修になりました。

今後も継続して、就労系事業所の職員のスキルアップに向けた研修や、顔の見える関係（ネットワーク）作り、売り上げ向上などに繋がる企画も計画していければと思っております。



良い支援は良いネットワークから♪

来年度に向けて・・・

研修会でのアンケートで様々な要望をいただきました。世話役の皆様と協議しながら提案させていただきますのでご期待ください。また、常にお忙しい中とは存じますが、スタッフの方の参加についてご配慮いただけると幸いです。

就労ネットワーク会 世話役の皆様

愛さんさんグループ 佐藤氏 植木氏 林田氏
チョコしおがま 米倉氏

事務局：地域拠点センターふきのとう 佐野

相談支援部会 ダイジェスト

令和 6 年 12 月発行

相談部会の目的 二市三町内相談支援事業者の情報共有とネットワークづくり

顔の分かる関係を土台にして、連携の強化（地域の相談支援体制の充実）を目指します。
また、活動を通して互いの考えや支援の方向性を共有する事により相互に高め合うことを狙いとしています。

相談支援部会の内容（月 1 回定例開催）

- *国の施策情報の共有
- *相談支援のノウハウの共有
- *地域のサービス情報を共有
- *自立支援協議会への参画⇒地域づくりのカギ
- *事例検討の実施（研修機能）

宮城東部の相談支援体制

委託相談事業所

《塩竈市》しおーも / 北上の郷 / 愛さんさんひかり
《多賀城市》けやき / 太陽の家
《松島町》松島町社会福祉協議会
《七ヶ浜》ふっとわーく
《利府町》ひまわり / もりのひろば

計画相談事業所

《多賀城市》梯
《松島町》りんく / アシスト
《利府町》地域拠点センターふきのとう

基幹相談支援センター

地域拠点センターふきのとう（二市三町）

トピックス

ハイブリッド開催

3 ヶ月毎にコロナ禍以前の顔を合わせてのスタイルで相談部会を開催しました。

事例検討を再開

ハイブリッドで開催される月は、持ち回りで事例を出し、皆で意見を出し合って検討し、相談員の資質向上に努めました



オンライン部会の様子

令和6年度全体会 参加者からのご意見

「圏域における医療的ケア児・者への支援体制の確立と緊急時ショートステイの面的整備について」

今年度の「医療的ケア家族ネットワーク会」発足に向けてこれまでご尽力くださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。まずは情報交換とつながりづくりを目的とする交流会からスタートするとのことですが、今後当事者の活動の場として長く続いていきますように、これからもご支援どうぞよろしくお願いいたします。

また、圏域で医療的ケア児・者対象のショートステイ（緊急時含む）やグループホームの利用実現を切望している家族がいらっしゃいますので、看護師の確保は大変厳しい状況だとは思いますが、面的整備の早急な対応も、ぜひよろしくお願い申し上げます。

（利府町手をつなぐ親の会 会長 好井 まり子氏）

宮城東部地域自立支援協議会事務局から

宮城東部地域自立支援協議会の「医療的ケア家族支援ネットワーク会」では、医療的ケア児・者を支える家族のための交流会を2月21日(金)に開催する予定です。今後とも、悩みを抱える家族間の「つながりづくり」と「情報交換」の場としてご利用いただけるよう支援を行ってまいります。

また、医療的ケア児・者対象のショートステイやグループホームの利用実現を切望している家族がいらっしゃり、その必要性が高まっていることから、自立支援協議会の枠組み・その他様々な場面を活用し、継続して工夫を施しながら、施設整備を含め、医療的ケア児・者が安心して暮らせる社会を創るために取り組みを進めていきます。